

マタイの福音書 聖書講解シリーズ

39) マタイの召し

マタイ 9:9-13

2020.2.2 HKJCF

1

概観

マタイが召された記録の挿入により、イエス様が宣べ伝えておられる「福音」と「律法」の違いがハイライトされる。

アウトライン

- | | |
|------------|--------|
| 1. イエス様の命令 | V9-10 |
| 2. イエス様の伝道 | V11 |
| 3. イエス様の指導 | V12-13 |

2

1. イエス様の命令 V9-10

- 1) 収税所のマタイ：ウィア・マリスの税関；ヘロデ・アンティパスの管轄；レビ（マルコ 2:14; ルカ 5:27-28）；記録や書類を集める個性。
- 2) 立ち上がって従った：初対面でない；マタイの献身とイエス様の決心；橋渡しの役。
- 3) 食事会：マタイの家で（マルコ 2:15; ルカ 5:29）；
①退職会 ②イエス様を紹介する。
- 4) 取税人と罪人：売国奴；ピンハネの習慣；いかがわしい行いをし、社会から断絶される。

3

2. イエス様の伝道 V11

- 1) パリサイ人たち：伝統に執着し、義の追求を優先し、自己義に酔いしれている人たち。
- 2) 弟子たちに言った：イエス様に直接言わないで、弟子たちの恐怖と罪悪感を煽る。
- 3) 罪人との接触：影響されず、救いの恵みを宣べ伝えるように（詩篇1:1；箴言13:20-21; 28:7）。
- 4) イエス様の意図：①罪人と同じ目線になる
②社会的通念に拘束されない ③天の御国を明確にする。弟子になる＞自己義の追求。

4

3. イエス様の指導 V12-13

- 1) 丈夫な者/正しい人：パリサイ人たち；自分の実態に気づかない深刻さ＝医者を退ける。
- 2) 病人/罪人：人類全員；自分の罪を知り、へりくだり、特薬のありがたみが分かる人。
- 3) ホセア 6:4-6：あわれみ＞いけにえ；義＝神との関係；律法や行いや儀式ではない。信仰＝誠実と神を知る心；自己義は無意味。
- 4) 行って学んで来い：イスラエルの歴史を 無視している＝律法を守れない事実。

5

適用

①王なるイエスに従っていくように：

弟子として主イエスに従い、罪の影響と自分の実態を把握しつつ、医者であるイエス様のところに人々を導くように。

②福音の素晴らしさを見失わないように：

福音は全員に開かれていることを感謝し、福音を学び、福音を宣べ伝えていくように。

6